

図書館だより

○中央 ☎072-950-5501 (月)休館
○陵南の森 ☎072-952-2750 (金)休館
○東部 ☎072-950-2002 (金)休館
○古市 ☎072-958-0050 (月)(火)休館
○ブックステーションはびきのコロセアム ☎072-937-7210 (火)(水)の 13:30 ~ 16:30 開館
全館休館 毎月最終水曜 (12月を除く・祝日の場合は翌日)

○丹比 ☎072-937-2355 (金)休館
○羽曳が丘 { ☎072-958-8653 (金)休館
☎072-957-5553 (金)休館
開館時間 10:00 ~ 17:30

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (中央は平日 10:00 ~ 20:00 土日祝 10:00 ~ 18:00)

おはなし会 (2月)			今月の特集テーマ	
中央図書館	1日(出) 15日(出)	11:00 ~	一般	恋とか、愛とか
	9日(出) 23日(出)	14:00 ~	児童	おかしな本
	15日(出)	15:00 ~	特集1	「南極教室」
陵南の森図書館	2日(出) 9日(出) 22日(出)	11:00 ~	特集2	手話の本
	15日(出)	15:00 ~	特集3	大きい本・小さい本
	16日(出) (小さい子向け)	11:00 ~	一般	お菓子のおくりもの
東部図書館	16日(出) (少し長い話を聞ける子向け)	11:30 ~	児童	こんなほんもありますよ!
	12日(水)	10:30 ~	“ふたり”の本	
羽曳が丘図書館	8日(出) 22日(出)	11:00 ~	旅したつもり	
古市図書館	1日(出)	10:00 ~	一般	本の『大北海道展!!』
	「冬のおはなし会 聞いてたのしむ昔ばなし」		児童	【南極展】/「ふゆ」のおはなし会
丹比図書館	22日(出)	10:30 ~	ねこ ネコ NEKO	

大人のための世界遺産講座 世界遺産登録 ep.0 (エピソード・ゼロ) ~ KOFUN WARS ~

日時 3月30日(日) 14:00 ~ 16:00
場所 LIC はびきの 3階 視聴覚室
対象・定員 大人 先着 50名
※世界遺産に興味のあるお子様も参加できます
申込 ①2月20日(水)より
※図書館利用カード(代表者のみでも可)をお持ちの方
10:00 ~ 窓口・Logo フォーム
13:00 ~ 電話にて受付
②2月28日(金)より
どなたでも申し込み可

小学生のための南極教室 —南極の基地を守る—

講師 加藤凡典 (ひろのり) 氏 (南極 OB 会)
日時 2月11日(火・祝) 14:00 ~ 16:00
場所 LIC はびきの 3階 視聴覚室
対象 図書館利用カードをお持ちの小学生と付き添いの大人の方
※2月1日(出)の時点で定員に達していない場合は、カードの有無にかかわらず中学生以上の方もお申し込みいただけます(電話可)。中央・古市図書館にて、それぞれの開館時間中にお申し込みください。
定員 先着 65名 (無料)
詳しくは図書館ウェブサイトをご覧ください。

朗読ボランティアグループ「はびきの」 第28回 朗読発表会

日時 2月15日(出) 12:30開場 13:00開演
場所 LIC はびきの 1階 映像セミナー室・交流プラザ
内容 瀬尾まいこ作『ファミリーデイズ』より
松村比呂美作『青い封筒』ほか
※入場無料・どなたでもご参加いただけます。

◇2025 はじめての手話 ~手でおしゃべりしてみよう~

日時 2月22日(出) 14:00 ~ 定員 20名
場所 LIC はびきの 2階 中会議室B
対象 緑色の図書館利用カードをお持ちの中学生以上の方
申込 中央図書館 窓口・電話にて受付
※2月8日(出)10:00 ~ 定員に空きがあれば、茶色のカードをお持ちの中学生以上の方もお申込みいただけます。

~図書館で映画を楽しもう~『わくわくドキドキ★ムービーシアター』

日時 2月16日(出) 開場13:30 ~ 上映14:00 ~ 内容『ターミネーター新起動/ジェニシス』
場所 LIC はびきの 1階 映像セミナー室 対象 市立図書館の利用カードをお持ちの方(先着45名)
申込 2月15日までに中央図書館へ来館・電話(950-5501)または二次元コードからお申し込みください。

サラザボール

近年、ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻、パレスチナのガザ地区での戦闘など、戦争、紛争について耳にすることが多くなっています。武力紛争は、人類の歴史において深刻かつ大規模な人権侵害を引き起こしてきたこと、今現在も苦しめられている人が多くいることを考えると、大変胸が痛みます。

先日、家族でテレビを見ていたときに、戦争についての報道がありました。その時に、ある絵本のことが話題になりました。「そらいる男爵」(ジル・ボム:文、ティエリー・デデュ:絵、中島さおり:訳/主婦の友社)という絵本ですが、この

ような社会情勢の今だからこそ、もう一度読みたい一冊です。内容について、簡単に紹介させていただきたいと思います。

そらいる男爵は、自分で作った、そらいろの飛行機で鳥を眺めるのが好きでした。けれども、戦争が始まり、男爵も飛行機に乗って戦争に行かなければならなくなりました。男爵は、爆弾の代わりになるものを探し、重くて当たったら痛い、分厚い本を投下することになりました。

ある時、敵の隊長が投下された本を開いたところ、夢中になるあまり黙って閉じこもってしまい、夜通し読んだため、戦いの命令がストップしました。これに気を良くした男爵は、お気に入りの面白い本を投下することになりました。余程面白かったのか、みんな

戦いを休んで読みました。

そして、男爵は戦争をやめさせる名案を思いつきます。それは、兵士の家族からの手紙を落とすことです。味方の兵士への手紙は敵の陣地に、敵の兵士への手紙は味方の陣地に。

そうして、戦争は終わりました。同じ人間同士、家族の大切さは国境を越えても関係ありません。そのような、誰もが共感できる気持ちを思い出せば、戦争なんて起こらないはずですが、もちろん簡単なことではないですが、少なくとも家族や身近な人達とは、そんな気持ちをずっと共有していきたいと思います。

はびきの し じんけんけいはつすいしんきょう かい
羽曳野市人権啓発推進協議会